



[Ishikari]

2016

Vol.329

JAいしかり 4.5

合併号
発行/石狩市農業協同組合



主な記事

- ニュースファイル 1
- インフォメーション 8

第28回通常総会にて激励状を受けられた新規就農者の皆様の、今後のご活躍を期待しております。
今年も組合員様の最良の年になります様に!!

第28回通常総会開催



第28回通常総会が4月6日午前9時30分より花川北コミュニティセンターで開催されました。開催に当たり吉田代表理事組合長より次のように挨拶が述べられました。『融雪も順調に進み、春の農作業のお忙しい中、多数の組合員皆様のご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、田岡石狩市長様をはじめ、ご来賓の皆様方に於かれましては、公務ご多用中にもかかわらずご臨席を賜りありがとうございます。日頃より当組合の事業運営に関し申し上げる次第でございます。』

只今、激励状を受けました(写真左から、ちきら高様、堀田一男様、遊佐宏文様、池端優様、佐々茉莉美様、宮本祐太郎様)6名の皆様大変おめでとございます。

皆様は農業に大きな夢と希望をもたれ、新規就農者の道に進まれたであろうと思います。これからの道のりは、決して平坦ではないと思いますが初期の目的に向かって大いに頑張ってくださいと思います。

私共JAいしかりの組合員と役員の方で大いに歓迎いたします。

そして私達皆様で支援させていただきます。また、皆様のご相談にもお応えいたしますので、皆様のお力で石狩の農業を盛り上げて下さい。

さて、昨年度は、農協改革法案の成立、TTP交渉の大筋合意など我が国の農業・JAにとって大変大きな変革の一年となりました。



激励状を手にした新規就農者の6名

農協改革については、農協法改正と農業所得向上の関連性が不透明な中、准組合員の事業利用規制や総合事業の分離・分割などの重要案件が今後の課題となっており、地域農業の振興や農協経営に影響を及ぼさないように農協・組合員が一体となって訴えていかねばならないと考えます。一方、TTP交渉に関しては、昨年の10月に大筋合意がなされましたが協議内容に重大な課題があり、今後国会において審議されることとなりますが、国会決議との整合性が取れ農業者の不安が払拭できるよう政府および国会議員に対して引き続き強く訴えて参ります。

さて、昨年度の石狩市の農業は降雪量も少なく、融雪も早く春先の農作業は順調に進み、一時期の干ばつや長雨はありましたが、年間を通して安定した気象状況の一年となりました。米穀は年間を通じて生育も順調に推移し、製品率も高く低タンパクで高品質米が生産され、出荷契約数量対比11.8%小麦も生育は順調に進み、秋小麦「きたほなみ」は過去最高の収穫量となり全量1等Aランクの実績となりました。

蔬菜関係は、品目によってばらつきもありましたが、市場価格も高値で推移し販売計画を上回る実績となりました。なかでも、ブロッコリーは生産者も増え作付面積が増加し、市況も高値で推移した結果3億円を超える販売高となりました。

地物市場「とれのと」は利用者ニーズに応え売場面積を拡張し、出荷者協議会の会員のご努力もあり今年度も販売高を伸張することが出来ました。しかしながら、9月中旬に花畔・樽川地区で電害が発生し、被害に遭われた組合員さんには心よりお見舞い申し上げます。

金融共済部での貯金は定期貯金キャンペーンの展開と農産物販売代金の増加により18.2億円の残高となりました。融資では多様化するニーズに対応するため資産管理・相談融資業務まで一体的に業務を行い計画を達することができました。また、共済業務では共済連北海道目標を16年連続達成出しました。この事は他に例を見ない素晴らしい結果と言えます。

経済部の資材では、取りまとめの推進、部会単位での注文商材を強化し、資材の安価・安定供給に努めました。燃料自動車では、原油価格の軟化を受けて値下げ局面が続く油総体に安価での提供をすることができました。各事業を通じて、組合員皆様に特段なるご利用・ご協力を賜り頂き誠にありがとうございます。

また、長年皆様にご利用いただきありがとうございました生振事業所は、昨年6月に閉鎖し「社会福祉法人はるにれの里」に売却をいたしました。合併以前からご利用いただいた施設がなくなることに、生振地区組合員の皆様にご英断をいただき改めまして深く感謝を申し上げます。

農協全体では、組合員皆様の負託に応えるため各施設の効率的稼働に努め、総合的な生産コストの低減に取り組み、更には、経営の健全化とコンプライアンスの徹底により信頼されるJAを目指し、役員一体となって事業推進に最善を尽くしました結果、事業利益で38,347千円、当期未処分剰余金は49,724千円を計上することができました。これも一



議長内海貴弘氏の挨拶

重に組合員の皆様のご協力と系統連合会のご指導とご支援の賜と心から感謝とお礼を申し上げます。剰余金処分案につきましては、一層の財務基盤の充実と内部留保に特段のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成28年度になりますが、日本経済は、政府の景気対策として量的緩和と質的緩和に続き、1月には日銀政策決定会議で「マイナス金利」の導入が打ち出されましたが、企業経営や個人の生活にとつての不透明感が拭いきれません。また生活に直結するエネルギー面では、今年4月より電力小売りの全面自由化や原油価格の下落により生産コストの削減が期待されながらも、今後、原油原産国の情勢不安が懸念されます。

また、昨年11月1日に第28回J A北海道大会が開催され、メインテーマとして「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」を掲げ、今後3年間にわたるJ Aグループ北海道の方針が示されました。組合員の所得向上の取り組みを重点とし、J Aグループ内での情報を共有し多様化する消費者・需要者ニーズを的確に捉え、買ってもらえる物を作って売る戦略へと転換。販売に対して組合員から多様な選択肢が求められており、共計・共販を基本に据えながら、組合員ニーズに応える販売手法の構築。また、生産から販売までのトータルコストの低減による農業所得の増大が掲げられました。

当J Aとしては、将来の地域農業を支える担い手の確保と育成に向けて、各地域毎の課題解決に向けた経営体支援、新規就農者支援、農業法人設立支援を農業関係機関と一体になって、各種施策を活用し経営サポートの取り組みを加速させ持続可能な農業の実現を図ります。

石狩農産物のブランド化に向けては、石狩市農業総合支援センターにおける試験圃場での新規作物と有望作物の選定、および「地物市場とれのさ」とによる新鮮・安全・安心な農産物の提供と消費者との交流拠点として、消費者目線の店舗運営、食農、石狩市農業のPRを行うとともに、今年度より通年営業の実施と6次化に向けた加工事業の取り組みを強化します。農産物販売では、野菜集出荷施設「ベジタブルファクトリー」にて、集荷・販売に対する多様な選択肢に応えるべく製氷機の増設をはじめとする施設整備と、J A施設を最大限活用し市場ニーズに応じた安定生産・安定品質を図り農業所得の増大に努めます。

また、米麦乾燥調製施設においては、米・麦の適期収穫作業に基づいた計画的な利用・運営に引き続き取り組むとともに、今後の効率的な施設操業と保管収容力の増強を図ることを目的に多目的倉庫の建設を行い、安心して良質米麦を生産、出荷して頂けるよう取り組みます。

さらに、組合員ニーズの多様化と環境変化が激しい時代に即応するため、

協同理念に基づく組織活動を通じて、自ら学ぶという意識改革を図るとともに、学習環境・自己練磨の環境作りに努めJ Aの次代を担う人材の育成に取り組みます。終わりになりますが、今年度任期満了による役員改選にあたり昨年の10月の農事組合長会議でご説明をさせていただいた後、中田守役員推薦会議委員長をはじめとします15名の推薦委員の皆様、また、各地区の役員推薦委員の皆様におかれましては、お忙しい中、度重なるご協議を頂き役員候補者の推薦を頂きましたことに対しまして厚くお礼申し上げます。本年も天候や市況に恵まれ組合員さんの努力が報われる実りの秋となることを念願し、開会のご挨拶と致します。宜しくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。」

その後、来賓の石狩市市長岡克介様、ホクレン農業協同組合連合会札幌支所長関根良輔様よりそれぞれ祝辞が述べられました。議長には内海貴弘氏（花畔農住地区）が選任され、正組合員総数578名の内正組合員出席数499名（内本人出席226名、代理出席17名、議決権行使書面230名、委任状26名）で総会の成立を認め、議案審議に移りました。提出議案1号から11号並びに報告事項1と2について理事者から説明があり、原案通り可決されました。特別決議事項「T P P から北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る」と題し、J A いしかり青年部増田崇紘部長より決議表明があり満場の拍手の元、特別決議されました。議案の最後に任期満了に伴う役員選任につきましては、吉田久雄氏、鈴木和雄氏、雉子谷幸一郎氏、松永昭司氏、景井新一氏が勇退されました。

尚、吉田久雄氏、景井新一氏がJ A北海道中央会より、2名に永年勤続の感謝状の贈呈が行われました。

総会終了後の理事会・監事会が互選会が行われ次の通り決定致しましたので、報告させていただきます。（敬称略）

代表理事	中村武史
常務理事	小池裕暢
理事	池端正幸
	六川清春
	大村喜紀
	熊倉正紀
	新居直樹
	吉田裕行
信用担当理事	大江徹
代表監事	青木政文
監事	相田芳男
外監事	小林正夫



退任挨拶・就任挨拶

前代表理事組合長 吉田 久雄



組合員の皆様におかれましては順調に農作業をされていることと思います。さて、4月6日開催の第28回通常総会をもちまして代表理事組合長を退任することとなりました。今日まで私たち役員の農協運営に対しまして、組合員の皆様の深いご理解とご支援、役職職員のご協力と石狩市、系統組織をはじめ多くの関係機関に多大なご指導、ご支援の賜であり、厚く感謝申し上げます。

私は平成7年に監事として就任致しまして、7期21年の間大過なく勤めさせて頂きました。特に平成19年からは、伊藤前組合長の後任として、4代目組合長として就任し、3期9年務めさせて頂きました。その間平成23年4月に石狩野菜の更なる生産向上を目指して、市内3ヶ所に点在していた野菜共撰施設を「ベジタブルファクトリー」として統合し、共同撰果と集出荷を一元化しロット数を確保し、高収益野菜の生産をめざし建設させて頂き、多くの生産者が野菜出荷を頂き感謝申し上げます。

また同年に、「地物市場とれのさと」として改修し、豊富な農業技術と経験を持つ高齢農業者、新規就農者など新たな担い手に対する販売先、女性農業者の6次産業化を目指した「とれのさと」に対して多くの利用者が石狩野菜を求めて来店されることは、直売出荷協議会の会員の皆様のおかげと思っております。その他にも、石狩野菜のブランド化、新規高収益作物の発掘を目的に農産物の試験研究農場の新設、残渣施設建設・小麦施設の改修工事をはじめとしていろいろなことが思い出されます。

一方、昨年の6月に閉鎖致しました、生振事業所の売却は地域組合員そして事業所利用いただいております組合員様には、大変ご迷惑をおかけしましたが結果としては実を結びませんでした。

生振地区の組合員様の高齢化そして減少の中、何とか新しい対応を考えた中、新しい農業形態としての漢方薬の原料になる生薬の生産をしていただける会社の設置につきましては、将来生振地区の発展に寄与できるものと思ひ決断させていただきました。

また組合長再任中、組合員の高齢化、減少の中、農協の存続と維持の為に何とか近隣農協と合併ないし事業連携の道を協議をして参りましたが結果としては実を結びませんでした。

今後の農業、農協を取り巻く環境は厳しくなっていくことは間違いありません。ですからこの件につきましては、新たな役員体制にゆだねて参りたいと思っておりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、農業情勢は米価の下落が続く中での平成30年産を目指した米政策の見直し、政府によるTPP交渉の今後先行きの不透明、農協改革問題をはじめ、前途は厳しい状況は続きますが、この難局を乗り越えるために組合員各位におかれましては、私たちに寄せられましたご厚情をどうぞ新役員に引き続き賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員の皆さんの営農の再生産が可能でより良い生活を続けられる政策が実施されていく事を願います。とともに、本日、選任されました新たな役員体制の元組合員が一致協力してJAいしかりをもり立てていただく事を強く願ひ、JAいしかりの益々の発展と組合員皆様のご健勝をご祈念申し上げ簡単措辞で感謝の意は尽くしきれませんが、退任にあたりましてご挨拶とさせて頂きます。長い間、深いご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。

前常務理事 景井 新一



春暖の候、組合員ならびに地域の皆様におかれましては、ご家族共々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。4月6日の第28回通常総会において、任期満了により常務理事を退任いたしました。昭和50年に旧生振農業協同組合へ入組し職員として28年間お世話になり、平成16年からは常務理事として組合員の皆様をはじめ、役職員の協力と関係機関の指導をいただきながら職務に邁進してまいりました。職を辞することは、誠に寂しく残念ではありますが、改めて皆様方これまでのご厚情に心より感謝申し上げます。今後はJAいしかりの一サポーターとして、益々の発展と石狩市農業の振興を微力ながら応援して参ります。なお、新しい代表理事組合長を中心とした新体制に、堅実なJA運営を託すとともに、組合員ならびに利用者の方々の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。退任のごあいさつといたします。

前理事 鈴木 和雄



退任にあたり組合員の皆様へ一言お礼のご挨拶を申し上げます。平成19年理事に就任以来、三期9年間微力では有りますが皆様のご指導を頂き大過なく勤めさせて頂き誠にありがとうございます。

高齢者社会にはいり農業者が減少しているなか農協の運営に組合員として農協事業に協力致したいと思っております。新役員体制の下、組合員と役職員が一丸となって農協の健全経営、また組合員の経済安定のため頑張って頂きたいと思っております。終わりに当たりまして、JAいしかりの益々のご発展と組合員各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。役員退任の挨拶と致します。

前理事 雉子谷 幸一郎



退任にあたり皆様へ一言お礼のご挨拶を申し上げます。平成21年4月に理事に就任以来、農協運営に携わり共撰場の施設統合など思い出に残る事業にもかかわらずさせて頂きました。この間大過なく務めてくれましたのも組合員の皆様の温かいご支援とご協力を頂き、また役職員並びに関係機関のご指導ご支援の賜と心より感謝を申し上げます。

TPP問題、農協改革、農家の高齢化など農協農業を取り巻く情勢は益々困難が予想されますが、新たな役員体制の下、役職員が一丸となって農協の健全経営に、また組合員の経済安定の為益々のご活躍とご奮闘をご期待申し上げます。終わりにJAいしかりの益々のご発展と組合員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。役員退任の挨拶と致します。

前監事 松 永 昭司



退任にあたり皆様方へ一言お礼のご挨拶を申し上げます。平成16年4月に員外監事として就任以来、四期12年間皆様方の温かいご支援とご協力を賜り大過なく務めさせて頂き退任できました事に深く感謝申し上げます。

どの業界も同じでしょうが過疎化、高齢化が進み、農業の一次産業の低迷化が国際産業の荒波に押し寄せられ、TPPをはじめ「農業所得の増大」やらと、大変厳しい時代ではありますが、新体制のもと皆様方とともに農協がますます発展していくようにご祈念しまして役員退任の挨拶と致します。

代表理事組合長 中村 武史



この度第28回通常総会終了後の理事会に於きまして、代表理事組合長に就任いたしました。様々な難問、課題がある中ではございますが組合員皆様の負託に応えられるよう、精一杯努めて参る所存でございますのでどうぞよろしく願いいたします。

さて農業をとりまく情勢は皆様ご承知の通り、政府による性急な農協、農業委員会改革やTPPの大筋合意などにより農業の将来が中々見通せない状況となっております。また平成30年から予定されている米の生産調整の見直しや、新たに始まった飼料米制度への取り組みなど様々な課題に直面しております。しかしながらこういう時こそ農協は持ち味である協同の力で問題、課題にしっかりと対処し、組合員皆様のお役に立っていかねばならないと考えております。

農業協同組合は申し上げるまでもなく、組合員の営農経済や生活をしっかりと支え、発展に寄与する為の自主的な組織であり、その為にも役職員一同、一丸となって所期の目的達成の為に力を尽くして参る所存でございます。今後とも尚一層のご指導とご協力をお願い申し上げますと共に皆様のご健勝をご祈念申し上げ、就任にあたってのご挨拶といたします。

常務理事 氏家 暢



この度の通常総会にて任期満了に伴う役員改選が行われ、理事に就任することとなり、その後の理事会で常務理事として選任されました。もとよりその器ではございませんが、職員として三十年余り勤めた経験を生かし、役職員皆様のご協力を頂きながら、新組合長を中心に、より一層の健全経営と経営基盤の拡充に努め、組合員皆様のご期待に添えるよう誠心誠意努めてまいりますので、今後益々のご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

理事 新居 直樹



この度の第28回通常総会役員改選により理事に就任する事になりました。基よりその器ではございませんが、農業、農協を取り巻く環境の厳しさを考えますと不安もございませぬ。先人の皆様が創り育ててきたJAいしかりが、いっそう発展できます様、先輩役員を始め組合員の皆様のご指導とご協力を頂きながら、微力ではございますが理事としてその責務を果たして行きたいと存じますので宜しくお願い申し上げます。

理事 吉田 裕行



この度の通常総会役員改選により理事に就任する事となり、この大役・責務に重圧を感じている所でございます。

今後の高齢化、後継者不足で人が生きる為に最も必要とされる安全で安心な食糧の生産量の低下が懸念される中、今そして次代に則する農協運営、農業経営をする為に先輩理事・組合員・農協職員と切磋琢磨していきたいと考えておりますのでどうぞ皆様の御指導、御鞭撻の程よろしく願います。

信用担当理事 大江 徹



この程の通常総会で、信用担当理事として選任されました大江徹でございます。学識経験者として金融共済部長と兼務と言うことで、今までに無い厳しい任務でありますので、就任にあたり身の引き締まる思いであります。

昨今の日銀のマイナス金利政策による経済の先行き懸念や、農協改革による信用共済事業の分離や準組合員利用規制に関する難題がございますが、JAの健全な運営に努め、農業のメインバンクとして安定的な農業資金の供給に努めてまいります。今後とも組合員皆様のご協力を頂きながら職務を全う致しますので宜しくお願い致します。

監事 相田 芳男



この度の役員改選に於きまして、監事に就任することとなりました。ご推薦のお話を頂いてから、この様な大役が私に務まるのか大変悩み、思慮致しまして、先代より何かとお世話になっておりますJAいしかりに、何か少しでもお力になれる事があるのではないかと考えまして、お引き受け致しました。

何分力不足で営農経験もなく、ましてやJA組織、運営等まったく分からない事ばかりでございます。先輩役員の皆様、組合員の皆様には大変ご迷惑を掛ける事とは存じますが皆様のご指導、ご鞭撻を賜りまして、微力ではございますが、JAいしかりの発展の為精一杯努力して参る所存でございますので何卒宜しくお願い致します。

J A いしかり地物市場 とれのさとオープン

4月1日JAいしかり地物市場とれのさとが営業をスタートしました。平成23年の営業開始から5周年、6年目の営業となる「とれのさと」は地域住民はもとより市外のお客様からの要望と冬期間の農産物販売並びに女性グループを始めとした加工商品の販売機会の増加を図るべく、今年度より通年営業を開始しました。

オープン前には営業開始に当たり、吉田代表理事組合長と直売所出荷者協議会大村喜紀会長より店舗スタッフへ激励のご挨拶を頂き、士気の高まる中オープンを迎えました。オープン前には営業開始を心待ちにしたお客様が長蛇の列を作り、開店と同時に店内は人で溢れ大盛況となりました。ハウス栽培のホウレンソウや越冬物の根菜類を中心に好調な売れ行きで、オープンイベント企画商品の越冬キャベツや今年から当JAで製造販売することとなった石狩漬けも今までと変わらない人気ぶりでした。今回は例年よりも早期の開店で、肌寒い中ではありましたがオープンイベント3



今年も越冬キャベツ好評です



開店同時に店内は大盛況



おいしさで人気のいしかり漬け

日間で延べ2,400名の来客数となりました。会員皆様には引き続き沢山の出荷を賜りますよう、また、組合員皆様におかれましては「とれのさと」へ是非ご来店ください。

J A いしかり直売所 出荷者協議会通常総会開催

平成27年度JAいしかり直売所出荷者協議会の通常総会が3月11日石狩市農協本店大会議室で開催されました。

会員67名が出席し、開催前には平成27年度に優秀な販売成績を納めた会員4名の表彰式を執り行いました。総会では大村喜紀会長の挨拶に続き吉田代表理事組合長の挨拶を頂いた後、杉中登さんを議長に選任し、議事に入り平成27年度の事業報告、収支決算、28年度の事業計画及び収支決算とそれぞれ承認されました。

尚、任期満了に伴う役員改選により決定した役員は次の通りです。

会長	大村 喜紀
副会長	川崎 藤男
副会長	中田 一彦
会計	前田まさ子
監事	伊藤 慧津子
監事	勝藤 眞智子
委員	加藤 英道
委員	小島 登美子
委員	渡辺 百美子

(敬称略)



役員改選により役員の方々の挨拶



大村喜紀会長の挨拶の様子

JAいしかり青年部 第29回通常総会開催

3月21日、JAいしかり青年部の第29回通常総会が開催されました。部員19名が出席し、開催前には昨年、石青協道外視察研修で九州を訪問した部員3名を代表して横山忠昭さんが視察の報告を行いました。総会では増田崇紘部長の挨拶の後、来賓挨拶に、JAいしかり中村武史専務、石狩地区JA青年部連絡協議会山内晋一副会長、JAいしかり女性部川崎寿子部長、普及センター石狩北部支所佐々木徳雄支所長より頂きました。

議事では昨年度の事業報告や新年度事業計画などを承認しました。

また、平成27年度活動にご尽力された石狩地区JA青年部連絡協議会小林卓也会長が4月に退任され、当農協青年部参与として迎えられるました。

役員改選では、引き続き部長には増田崇紘さん（高岡地区）が選任されその他の役員は次の通りです。

副部長	山内 克彦 (美登位地区)
副部長	藤岡 裕寿 (高岡地区)
代表監事	村上 貴彦 (北生振地区)
監事	熊倉 聡 (北生振地区) (敬称略)



増田崇紘部長を筆頭に挨拶する新役員

JAいしかり女性部 第28回通常総会開催

JAいしかり女性部の第28回通常総会が3月15日、石狩市農協本店大会議室において部員28名出席のもと開催されました。

総会では女性部綱領朗唱に続き、川崎寿子部長の挨拶の後、来賓のJAいしかり 中村武史専務理事、JAいしかり青年部増田崇紘部長、農業改良普及センター北部支所山口一也係長よりそれぞれ祝辞を戴いた後、花畔地区の石井真由美さんを議長に選任し議事に入り、平成27年度事業報告、収支決算報告、平成28年度事業計画、収支予算等全ての提出議案について議事を進め承認を得ました。

また、総会後は、野音花（メディカルスキンケア&耳つぼダイエットサロン）の諸沢美由紀代表を招いて指ヨガ&セルフハンドマッサージを開催し、「手をほぐすことによって全身もほぐすことができる」と手軽に出来るマッサージ方法を教わりました。

尚、任期満了に伴う役員改選で決定した役員は以下の通りです。

副部長	似鳥 初枝 (花畔地区)
副部長	新居久美子 (美登位地区)
会 計	小池 千里 (高岡地区)
理 事	山内りり子 (美登位地区)
理 事	蓮田千佳子 (北生振地区)
理 事	小笠原光子 (高岡地区)
代表監事	出塚あけみ (北生振地区)
監 事	杉中ひとみ (花畔地区) (敬称略)



女性部新役員と川崎寿子部長挨拶の様子

安心米生産組合・ 米麦振興会 通常総会開催

3月22日に本店大会議室にて安心米生産組合通常総会と茨戸ガーデンにて米麦振興会通常総会がそれぞれ開催され、平成28年度の事業報告・収支決算並びに平成28年度事業計画・収支予算（案）が承認されました。また、役員改選に伴い新会長に生振地区の大嶋浩司さんが選出されました。

米麦振興会総会終了後には、普及センターの山口係長より昨年度の秋小麦の栽培技術についての講習をうけ、約1時間ほどで総会を終了した後、ホクレン札幌支所米麦農産課の千葉課長の乾杯で懇親会が開催され盛況の内に終了致しました。



大嶋浩司会長を筆頭に挨拶の様子

第28回そ菜園芸振興会
通常総会開催

3月15日に第28回そ菜園芸振興会通常総会が開催されました。杉中敏男会長の挨拶で開会され、吉田久雄代表理事組合長から祝辞を頂きました。議事については、平成27年度の事業報告、収支決算報告、平成28年度の事業計画、収支予算書など全ての提出議案が原案通り満場一致で承認され、総会を無事終了致しました。

また、今回は振興会の活性化を図り、会員同士の親睦を深めるため、総会終了後に懇親会が開催されました。懇親会には、札幌市場より丸果青果(株)中村常務取締役、札幌ホクレン青果(株)木下副部長・高坂課長の出席を頂き、会員の皆様とも色々な話がすることが出来る貴重な時間となりました。

今年度もそ菜園芸振興会では、会員の皆様同士の交流の場を作る事を検討することとしており今後の活動に期待されます。



杉中敏男会長の通常総会開会挨拶

平成27年度
各部会通常総会が開催



藤岡浩晃(高岡施設園芸生産組合)組合長の開会挨拶

2月23日に高岡施設園芸生産組合の通常総会が開催されました。総会は藤岡浩晃組合長の挨拶により開会され、来賓には札幌ホクレン青果(株)より青木主任、普及センター佐々木支所長の出席を頂きました。総会では、会員の皆様から様々な意見が出されました。総会終了後は、栽培講習会が開催され、新資材の紹介や苗管理のポイントなどについて講習されました。また、平成27年度9部会合同の通常総会が2月29日に開催されました。総会開催にあたり人参部会の山内信昭部会長が挨拶され、成田和彦さんが議長に選任され議事が進められ、議事は原案通り可決・承認されました。また、当日は吹雪による悪天候にも関わらず部会員の方々も多数出席され、多くの意見・要望などもありました。また、合同総会終了後には、ベジタブルファクトリーの横に設置されている石狩農業総合支援センターの試験圃場での結果報告会が開催されました。昨年の試験圃場では、70aの中に38品目200品種が試験栽培され、共撰品目のサヤエンドウやブロッコリーの品種試験から今年から作付けが予定されている加工用馬鈴薯などの有望品目について試験栽培され、その試験結果について報告されました。また、試験圃場については、今年度も随時見学など出来ますので、是非興味のある方はお立ち寄りください。

2月23日に高岡施設園芸生産組合の通常総会が開催されました。

ブロッコリー販売
金額3億円達成
祝賀会が開催

2月27日にブロッコリー部会の通常総会と3億円達成祝賀会が開催されました。

成田和彦部会長の挨拶で開会され、来賓には札幌ホクレン青果(株)大野常務取締役挨拶を頂き、また丸果石川中央青果(株)立花次長の乾杯で祝宴に入りました。ブロッコリーの作付けは、平成11年に生振地区の3戸で試験栽培が開始され、平成14年には生振地区と石狩地区の13戸で4.9haの作付けになり、ブロッコリー部会が発足しました。ブロッコリーの作付面積は右肩上がりに増え平成27年には38戸で81haにまで増えました。また、販売金額は、平成25年に製氷機を導入してから2億円を超えていきました。昨年最高額の3億2313万円を達成する事が出来ました。



成田和彦部会長の祝賀会開会挨拶の様子

また、今年には製氷機が増設され2台体制となる予定になっていきますので、今後ブロッコリーの出荷数量と販売金額が増えることが期待されています。

春の小農具・

自動車展示会開催

3月24日、25日の両日ベジタブルファクトリーの倉庫及び敷地にて、小農具展示会を開催致しました。初日は、雪まじりの天候にも関わらず、また直売組合の生産者会議も開催され多くの組合員にご来場を戴き、ポンプ・工具セット、メッシュコンテナなど数多くの農業資材をご購入いただきました。また、新車・中古車・トラクターの展示も行い、直接メーカー担当より詳しい話を熱心に聞いておりました。



資材の説明を受ける組合員

毎年、恒例となりました、そば、うどんの昼食サービスを楽しみに家族連れで訪れて戴いた組合員さんもあり、和やかな展示会を開催する事ができました。ご理解とご協力に感謝申し上げます。今後も組合員に利用して頂ける様、資材課、燃料自動車課を旨指して参りますので宜しくお願い致します。



恒例のそば、うどんの昼食サービスの様子



寒い中、大勢の組合員様が展示会にご来場くださいました

資材課営業時間について

	平 日	土曜日・祝祭日	日曜日
4月18日～5月31日	8時30分より17時00分		休 み
6月 1日～9月30日	8時30分より17時00分	8時30分より12時00分	休 み
10月1日以降	8時30分より17時00分	休 み	

※ゴールデンウィークも営業しています。(日曜日を除く)

※7月以降の土・祝祭日についての配達が出来かねますので何卒ご了承下さい。

J A い し か り 資 産
運 用 部 会 通 常 総 会

3月23日に第28回通常総会並びに講習会が30名参加のもと美食工房「花」にて、開催されました。総会前に講習会を開催し、全農 渡辺調査役より税制改正について、ホクレン施設課 栗村氏より既存アパートの建替え実例についての講習を行いました。終了後に通常総会を開催し、議事進行には、内海健司議長が選任され、平成27年度事業報告収支決算、平成28年度事業計画(案)、収支予算書(案)と慎重審議され、原案通り承認となりました。その後、懇親会が開催され、参加された会員各位で親睦を深め有意義な時間を過ごしました。



平成28年度上期 貸出金一覧表

[適用日：平成28年2月1日より]

資金名		平成28年上期店頭利率	貸付期間	貸付限度	担保・保証	貸付金の使途	備考			
短期資金	手形 貯金担保貸付	1千万円未満の借入	1年	預金金額の90%以内	定期貯金	生活上、必要な資金				
		1千万円以上の借入								
	共済担保貸付 ※H28.4.1より改定(2.7→2.45)	2.450%						解約返戻金の80%以内	共済積立金(質権設定・共済質権設定登録)	
	住宅ローンつなぎ資金(手形)	2.000%						土地購入代金	土地抵当権設定(留保扱い) 全国保証による保証	新築に必要な宅地購入のつなぎ資金
	証書 短期貸付金(証書)	4.500%						組合員貸付限度額	土地又は保証人1名以上	生活上、必要な資金
長期資金	事業運営資金	3.000%	10年	組合員貸付限度額	土地・建物または優良担保	事業運営に必要な資金	取引状況に応じて最大0.2%優遇			
		3.500%	20年							
	フルスペックローン	農機具取得(個人)	2.000%	10年	1,500万円	土地または保証人(正組合員)1名以上または優良担保	農機具(中古を含む)の購入・点検・修理・車検・購入時の諸費用、保険掛金、借換資金、パイプハウス等の資材・建設費用、格納庫建設資金 ※農業資金融資要項(統一)に準ずる。	借換は残存期間10年以内で残存期間内で残債の範囲内の貸付		
		農機具取得(共同)			3,000万円	土地または保証人(組織構成員)3名以上	上記に準ずる。共同とは正組合員2名以上で構成する組織等			
	農地取得資金	1.000%	30年	5,000万円	土地・建物または優良担保	農地取得に必要な資金(貸出期間25年起)	後継者が主債務者の場合は現経営者を連帯保証人とする			
	農業経営ステップアップローン	10年目まで	全期間	25年	5,000万円	土地・建物または優良担保	農地の取得、改良、造成、復旧に必要な資金 農業経営のための施設等の取得に必要な資金 ※農業資金融資要項(統一)に準ずる。	J Aバンクより利子助成有り		
			当初5年間で6年目以降					0.500%	J Aバンクより利子助成有り	
		10年超~15年目まで	当初5年間で6年目以降					1.000%	J Aバンクより利子助成有り	
			15年超~25年目まで					0.800%	J Aバンクより利子助成有り	
	賃貸建物・土地取得資金	変動金利型	5年固定特約型	30年	組合員貸付限度額	土地および建物に1番抵当権を設定 建売または火災共済に審査権を設定 原則、最終償還が75歳を越えないこと。 主債務者が最終償還が75歳を越える場合には同居相続人および相続人を保証人として1名以上徴求する	賃貸建物の建設費用・これに付随する土地の取得費用 賃貸建物のリフォーム資金	資産管理課経由は 店頭金利より0.5%優遇 当JAの建売加入により店頭金利より0.2%優遇 ただし上記優遇は当初固定特約期間のみに適用し変動金利には適用しない。 固定期間終了後は変動金利に移行する。		
10年固定特約型			2.475%							
11年目以降			3.900%							
住宅建築・取得資金	段階制固定特約型	10年目まで	35年	5,000万円	融資対象建物および土地の1番抵当権設定 建売(火災共済)および借入金額以上の生命共済の1番質権設定 優良担保	新築(中古)住宅の建築・売買に必要な資金 建物に付随する土地取得資金 既存借入より借換に必要な資金	資産管理課経由は 店頭金利より0.2%優遇 建売加入は適用金利より0.2%優遇 住宅ローンキャンペーン期間中はキャンペーン金利から上記金利を優遇			
		11年目以降					3.900%			
	自動車ローン	8年					700万円	自動車購入・車検費用等自動車に関する資金	教育ローンのみ措置可。ただし在学期間の範囲内貸出金利はキャンペーン期間中はキャンペーン金利の最優遇金利を適用する。	
	リフォームローン	20年					1,500万円	住宅の増築・改築、補修に関する資金		
教育ローン	15年	700万円	入学者・学費等教育に関する資金							
フリーローン	7年	300万円	生活に必要な物資の購入資金等							
共済担保貸付	3.800%	10年	解約返戻金の80%以内	共済積立金(質権設定・共済質権設定登録)	生活に必要な資金					
一般	住宅ローン	変動金利型	35年	5,000万円	保証機関による保証	新築(中古)住宅の建築・売買に必要な資金 既存借入より借換に必要な資金 ローン融資要項(統一資金)、全国保証の住宅ローン事務取扱要項に準ずる	准組合員加入 キャンペーン時に別途金利設定			
								変動金利固定特約型	3年固定特約	2.920%
									5年固定特約	3.020%
									10年固定特約	3.200%
	固定金利段階型	10年目まで	3.200%							
		11年目以降	3.900%							
	マイカーローン	10年	1,000万円	4.975%	1,000万円	保証機関による保証	ローン融資要項(統一資金)に準ずる			
	リフォームローン	20年	1,500万円							
	教育ローン	16年	1,000万円							
	フリーローン	10年	500万円							
クミカン	営農貯金見返	2.200%	/	/	/	/	/			
	担保・保証	3.600%								



黒田 栄継 氏 (くろだ よしつぐ)

北海道農協青年部協議会 参与
全国農協青年組織協議会 参与

平成27年11月11日に開催されました第28回 J A 北海道大会にて「北海道農業と J A グループに期待すること」と題して、パネルディスカッションが行われました。その内容につきまして第4回目のご紹介を致します。

第4回は、青年部を代表して北海道青年部協議会黒田参与からの提言を紹介します。

「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

昨年、全青協会長の立場で、J A グループ自己改革の審議に関わった。その中で、国民合意を形成しているという時の世間からの風当たりは皆さんの想像以上のものがあつた。

農協改革は、なんとなく落ち着いているような雰囲気だが、5年経ったら色々また始まる。何も終わっていない。

その中で、今回の大会で何を決めて何を目指すか。現場の青年部としても自己改革を作っていくなかで、

何を望み、自分たちは何をやるのかを議論してきた。

やはり、農協の営農経済の事業を改めて確立しているところになる。

北海道は、全国的にみるとダントツにできているが、改めて北海道が全国のイニシアチブをとるくらいのことをしていく。そのためには、職員、役員だけでなく、組合員がしっかりそこに気づいて、改めて J A グループ全体でやるという雰囲気をつくっていくことが大事。

組合員教育という言葉に怒り出す組合員も非常に多いが、避けては通れない。私も青年部参与として関わっている、青年部でも、しっかり共有認識をもって今後一緒に事業をつくっていききたい。

「550万人と共に創る」

550万人と謳ったからにはかなりのことを展開しないとイケない。多くの人と繋がるためには、皆が力

を出していかないとイケない。

組合員と一体となり、全体で前に進む姿を作りたいというのが、現場のひとりとしての決意だ。

農協は良いところがたくさんあるし、私もそれに世話になってきた。

しかし、良いところは、実は私たちにとっては当たり前にあるもの。良いと改めて考える必要がなく、わざわざそれを褒めることもなかった。



農協改革がここまで押し込まれた理由の1つに、自分たちの良さを自分たちで語れたかということがあったかと思う。内部には気がつかない。色々な人と関わることで自分たちの価値

観が明確になる。

消費者に農業の本当の価値がしっかり伝わっていないのではないかと感じる。

農業者一人一人が価値を伝えていく。これだけ距離があいてしまった社会ではないと次のステップに進めない。

大会議案の実践方策に何をやるかが書かれているのは本当に素晴らしい。

是非、これを色々な人と手を組んで実現できたら良いなということを改めて思っている。

最後に二言

550万人とつながるといふ取り組みについて、全国各地青年部また女性部、本当にたくさんさんの取り組みをしている。

J A グループ全体でその取り組みを広げていき、私たち青年部、女性部は、みなさんと一緒にやっていくので、頑張っていきたいと思います。

地区別懇談会

3月1日～4日にかけて、各地区4会場で地区別懇談会を開催させていただきました。懇談会には役員をはじめ全部課長が出席し、平成27年度の事業報告、平成28年度の事業計画、第28回通常総会日程について報告を行った後、組合員の皆様より貴重なご意見・ご質問をいただきました。



企画総務部門

Q 本店2階ホールの分煙化を検討してほしい。(本店地区)

A 他施設も含め分煙に向け検討いたします。

Q 合併についてどのように進んでいるのか教えて頂きたい。(本店地区・生振地区)

A J Aの組織整備の検討については平成24年9月に設置したJ A北いしかり、J A新しのつとの3 J Aによる「石狩北部J A組織検討部会」において地域農業や組合員経営、J A経営のあり方、さらに3 J A間で連携・共同して取り組める事項について協議を行ってまいりましたが、3 J Aの組織整備についての大きな進展には至りませんでした。ただ、今後外部環境による様々な影響を勘案し、検討できる組織検討部会は残しておくこととしてございます。新体制において改めて組織整備のあり方について検討いたします。

Q 剰余金の積立金額等について教えてください。(生振地区)

A 定款で定められている法定積立金の利益準備金については当期剰余金の20%以上の積立が義務づけられておりますので、毎期積み立てております。

その他万が一に備え、任意積立金として、金融基盤強化積立金、税効果積立

金、肥料共同購入積立金がございます。また、今回剰余金処分案でお示しております施設整備積立金、食の安全安心積立金があります。これまでの積立額の明細につきましては総会資料に掲載いたしますのでご確認ください。尚、今回の総会で食の安全安心積立金の積立限度額を方が一の事故時に充分対応できる限度額へ変更したいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

Q 生振事業所の売却について教えてください。また、事業所閉鎖に伴い不便や苦情等があったのであれば教えてください。(生振地区)

A 生振事業所については、昨年6月にはるにれの里に売却し閉鎖しており生振地区組合員に不便をおかけしております。閉鎖に伴い生振地区組合員による検討委員会を設置し要望等について検討頂き農協として出来ることについて対応して参りました。検討委員会閉鎖後に実際どのような不便が生じるのかを見て再度検討委員会を開催することとしておりましたが、代金決済が補助事業確定後の1月下旬になったことから委員会の開催が遅れておりますことをお詫び申し上げます。現在のところ不便や苦情等はありませんが、引き続き資材の供給面等迅速に対応いたします。また、近いうちに閉鎖後についての検討委員会を開催し色々なご意見、ご要望を頂き検討いたします。

Q 生振事業所の閉鎖で気軽に集まる場所がなくなりました。その代わりに色々な活動をするために助成していただけないか。(生振地区)

A 今後、閉鎖についての検討委員会を開催し検討いたします。

Q 生振地区にかかわらず、J Aや地域での交流の機会が減っていると感じます。J Aいしかり全地区を対象に地域とのコミュニケーションをとる回数を増やす検討をしてほしい。(生振地区)

A 地域とのコミュニケーションの取り方について検討いたします。

Q 役員体制が変わり職員兼務理事ができるみたいですが、万が一の時の役員の賠償責任、職員の責任について教えてください。(花畔地区)

A 役員については役員賠償保険に加え、職員についても身元保証保険に入し方が一に備えておりますが、そのようなことにならないよう理事会で慎重審議をしながら事業運営をいたします。

Q 組合員だよりの内容を充実してほしい。(花畔地区)

A 記事を固定化せず、タイムリーな情報を提供するように努力いたします。

Q 花畔支店に組合員が休憩する場所がないので設置を検討してほしい。また、提出物を入れる本店行きポストの設置も検討してほしい。(花畔地区)

地区別懇談会

A 地域とのコミュニケーションの取り方につきましては、今後検討させていただきます。本店行きポストの設置は、昨年に生振地区に農業倉庫4号の横に設置致しておりますので、是非ご利用頂きたい。

金融共済部門

Q 日銀がマイナス金利を実施すると発表していますが、JAいしかりは日銀へ預金しているのでしょうか。(本店地区)

A 当JAは、組合員さんからお預かりした貯金は北海道信連へ預金しております。その後、北海道信連は農林中央金庫へ、農林中央金庫は準備預金として一部を日銀へ預金しておりますが、影響は限定的とみられます。

Q マイナス金利が開始されたことで農協の金利は下がるのですか。(花畔地区)

A 当JAでも市中銀行と同じく貯金の金利は下がっている状況です。

経済部門

Q 八幡給油所の給油レーンが3箇所あるが1つのレーンがいつも使用できない状態であるがどうしてでしょうか。(本店地区)

A 職員が主に2名での勤務体制であ

り、人数に併せたレーン設定としておりましたが、今期より新しい体制となりましたので利用しやすい給油所いたします。

Q 現在の資材課には農業に詳しい担当者がいらない。農業に詳しい専門の担当者がいてほしい。せつかく詳しくなっても人事異動でいなくなってしまうのではこまるので、最低4・5年はいてほしい。(本店地区)

A 農業メーカーより講師を招き内部研修を行い、外部研修会へも積極的に参加し勉強しております。担当者が人事異動しても大丈夫な体制を整備いたします。

Q 今後アロクカードは他の農協給油所で利用できるようになるのですか。(本店地区)

A 今後全道の農協、ホクレンのスタンドで利用できるようになります。ポイントについては各JAのスタンドで異なりますのでご理解願います。

営農部門

Q 米麦センターの件ですが、昨年は麦が大豊作で3日間長時間の待ち時間がありました。今年も豊作だと昨年と同じ状態になるのでしょうか。(本店地区)

A 改善策を検討中で、今後は生産組織も含めて、センターの受入開始時期

の見直し等も含めて検討いたします。

Q 麦の受入を待つていた組合員の半数が他JAの組合員であった。施設も老朽化している。他JAの利用を削減してある程度の余力を持って運営したほうがよいのではないか。また、トラックも長時間使用できなくなるとコストも掛かるし麦刈りも出来ない状況になる。他JAは受入先を選択できる自分たちはJAいしかりへ出荷するしかない。対策をとってほしい。(本店地区)

A 改善策を検討いたします。

Q 営農指導事業のなかで石狩農産物のブランド化とありますが、具体的な内容を教えて下さい。(本店地区)

A 農業総合支援センターと連携し、試験圃場を利用した浜ポウフや落花生、青年部の協力で作付けしたさつまいも等があります。昨年は生殖用だけではなく加工馬鈴薯やトマトなども試験をしています。また、販売面については直売所を利用した市場調査を実施しています。今後も組合員さんの作付体制にあつた新しい作物、品種を提供いたします。

Q 米の計画が昨年実績と比較すると減っていますが、面積が減るのか、販売単価が減るのかどちらでしょうか。(本店地区)

A 計画においては作付面積は減少する見込みとし平年の単収をもとに昨年

同様の販売単価にて計画をしております。

Q 以前3力年の土壌診断が行われていたが、今後は行わないのでしょうか。(本店地区)

A 以前は国の助成事業を活用し行ってきましたが、その後は秋口に切り纏めを行い任意で行っており、今後も継続して行います。

Q 米麦倉庫の建設で荷受けの混雑は解消になるのでしょうか。(生振地区)

A 倉庫建設については混雑の解消になるためではなく、昨年の様な小麦の豊作や今後の作付面積増加に対応するための建設になります。荷受けの混雑については、今後は生産組織との協議を行い、米麦センターの受入開始時期の見直し等も含めて検討して参ります。

Q 直売所が通年営業する際、冬期間に販売する地物野菜はあるのですか。(生振地区)

A 冬期間の商品確保が重要とされ、直売所出荷者協議会では冬期間の野菜栽培講習会等を開催し、会員への作付け、出荷をお願いして参ります。経費に就きましては、現在も冬期間は加工施設を利用しているため固定経費が発生しておりますので、そのことも鑑みて最終的に収益が出る経営を計画しております。

理事会だより

第2回定例理事 ~3月16日~

◆ 報告事項 ◆

- ① 地区別懇談会の質疑応答について
- ② とれのさとオープンについて
- ③ 米麦多目的倉庫建設に係わる経過報告について
- ④ 農業委員会総会について

◆ 審議事項 ◆

- ① 第28年度信用供与等の限度について
- ② 貸付金の申込み査定について
- ③ JAバンク基本方針の変更について
- ④ 第28回通常総会招集通知書、議決権行使書面について

3月のあゆみ

1日	地区別懇談会(本店地区)	16日	定例理事会
4日	地区別懇談会(生振・花畔地区)	18日	青年部通常総会
8日	石狩地区常務参事会議	19日	吉田組合長北海道産業貢献賞受賞祝賀会
9日	人づくり実践推進セミナー	22日	安心米生産組合総会
10日	石狩市新規就農研修認定審査協議会		米麦振興会総会
11日	直売所出荷者協議会総会	23日	資産運用部会総会
14日	新規採用職員入組・辞令交付	24日	TPPから北海道の命と暮らしを守るためのシンポジウム
15日	女性部通常総会		農業委員会総会
	そ菜園芸振興会総会		小農具・自動車展示会~25日

新人職員の挨拶



わたなべ しゅんすけ
渡辺 竣介 (19歳)

JAカレッジ(卒業)

所属部署

営農部青果課 青果係

JAいしかりに入組でき、採用して頂いた身として感謝の意を持って仕事に取り組みでいきたいと思ひます。8月の実習からお世話になり、様々な場面では優しくサポートして頂いた事は印象に残っております。またこの度、入組するにあたり石狩という環境と仕事にいち早く慣れ、一人の職員として仕事を任せられる人材になることが目標です。そのためにも、まず組合員皆様の顔と名前を覚え、親密にコミュニケーションを取っていきたくひです。

青果課に配属されたという事もあり、組合員の皆さんと顔を合わせる機会が多いので、しっかりと仕事を行っていきたくひです。まだまだ何も分からない未熟者ですが、仕事をしていく上でたくさん知識を身に付け、日々勉強という気持ちで仕事と向き合っていきます。



ふじしま ちはる
藤嶋 千晴 (19歳)

JAカレッジ(卒業)

所属部署

金融共済部金融課 金融推進係

この度JAいしかりに入組いたし、花畔支店の金融課に配属させて頂きました。私は小学2年生から空手を続けており、高校生2年生の時は全国選抜大会団体出場、3年生の時には全国大会で団体準優勝の成績を収めることができました。この経験を生かし、どんなことにも冷静に対処できるような職員を目指していきたくひです。また私は農協学校の出身でもあり、昨年一年間かけて農協や農業のことに関して勉強してきました。そして生活では仲間と協力し合いながら学校生活を送りましたので、協調性には自身があり、また体力もある方だと自負してひいます。

配属させて頂いて間もないですが、仕事を一つ一つ丁寧にひい、一日でも早く覚えていきたくひです。

そして、誰からも信頼される職員を目指して努力いたしまひす。初めは多くのご迷惑をお掛け致しますが、どうぞご指導の程よろしくお願ひ致します。

訃報

高岡第二 平野 武 享年88歳
平成28年3月3日逝去

高岡第二 松田 恒夫 享年83歳
平成28年3月8日逝去

謹んでお悔やみ
申し上げます。